

私立大学図書館協会西地区部会
中国・四国地区協議会 2022 年度総会
議 事 要 録

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール会議（書面審議）により総会を実施した。

期 間 2022 年 4 月 22 日(金)～4 月 30 日 (土)
出席校 42 大学

議 事

I. 報告事項

1. 中国・四国地区関係
 - (1) 2021 年度中国・四国地区協議会 会務報告
2. 西地区部会関係
 - (1) 2021 年度西地区部会 会務報告
 - (2) 2021 年度西地区部会 予算執行状況
 - (3) 2022 年度西地区部会総会及び研究会(案)
 - (4) 2022 年度西地区部会予算(案)
 - (5) 2022 年度西地区部会関連行事日程(予定)
 - (6) 2022・2023 年度西地区部会 役員校
 - (7) 2022・2023 年度西地区部会 当番校
 - (8) 西地区部会の組織・活動のスリム化に向けて(2021 年度概要)
3. 私立大学図書館協会関係
 - (1) 2021 年度私立大学図書館協会 会務報告
 - (2) 委員会報告
 - (3) 2022 年度事業計画
 - (4) 協会からのお知らせ(変更点)
 - (5) 2022 年度私立大学図書館協会 役員校

II. 協議事項

[第 1 号議案] 2021 年度 私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会決算報告書(案)に
ついて
理事校による総会資料 30 ページ及び 35 ページに基づく提案につき、審議の結果、原案通り承認さ
れた。

[第 2 号議案] 2022 年度(第 52 回)私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会研究会に
ついて

2022 年度研究会幹事校の福山大学による総会資料 31 ページに基づく提案につき、審議の結果、原案通り承認された。

[第 3 号議案] 2022 年度私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会予算書(案)について理事校による総会資料 32 ページに基づく提案につき、審議の結果、原案通り承認された。

[第 4 号議案] 2023 年度私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会研究会発表校について理事校による総会資料 32 ページ及び 39～46 ページに基づく提案につき、審議の結果、次の通り承認された。

岡山・鳥取・四国地区	吉備国際大学
広島・山口地区	宇部フロンティア大学

[第 5 号議案] 2025・2026 年度私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会理事校について理事校による総会資料 33 ページ及び 39～46 ページに基づく提案につき、審議の結果、次の通り承認された。

岡山・鳥取・四国地区	松山大学
------------	------

[第 6 号議案] 2025・2026 年度私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会幹事校について理事校による総会資料 33 ページ及び 39～46 ページに基づく提案につき、審議の結果、次の通り承認された。

岡山・鳥取・四国地区	2025 年度責任幹事校(研究会開催校)	環太平洋大学
広島・山口地区	2026 年度責任幹事校(研究会開催校)	広島女学院大学

[第 7 号議案] 中国・四国地区協議会スリム化について理事校による総会資料 33 ページに基づく提案につき、審議の結果、原案通り承認された。

III. 確認事項

理事校から総会資料 34 ページに基づき、前総会までの了承事項について次の通り確認された。

1. 2022 年度(第 52 回)中国・四国地区協議会研究会発表校

岡山・鳥取・四国地区	徳島文理大学
広島・山口地区	福山平成大学

2. 2023・2024 年度私立大学図書館協会役員校・当番校(中国・四国地区関係)

2023・2024 年度西地区部会中国・四国地区協議会理事校	広島経済大学
2023 年度西地区部研究会当番校	広島工業大学

3. 2023・2024年度中国・四国地区協議会研究会幹事校

岡山・鳥取・四国地区 2023年度責任幹事校(研究会開催校) 聖カタリナ大学

広島・山口地区 2024年度責任幹事校(研究会開催校) 近畿大学工学部

IV. その他

協議事項について、以下のようなご意見等があった。ご意見等については、今年度も含め、今後も継続して地区協議会加盟館のご意見を頂戴しながら、検討させていただく。

- ・西地区、中国四国地区ともスリム化がすすむことを期待しています。
- ・研究会費の予算について承認しておりますが、今後のあり方について検討が必要かと思えます。従来より毎年20～30万円程度の繰越金が発生しているようですが、過去2年がオンライン開催となったこともあり、繰越金が多額になっています。オンライン開催が提案された場合、繰越金の増加が見込まれ、多額の予算使用も可能となります。研究会予算のあり方として、皆さんでご検討いただく時期に来ているのかと思えますがいかがでしょうか。